

- 問1 19世紀後半、プロイセンの首相ビスマルクが主導して達成した国家統一において、彼が示した政治方針やその背景について説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2021年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---------------------------------------|--|
| 1. イギリスとの軍事同盟を背景に、産業革命による経済力のみで周辺諸国を統合した | 2. 言論や多数決ではなく、軍事力と犠牲によって問題を解決すべきだとする鉄血政策を推進した | 3. ナポレオンの支配から脱却するため、共和制を重んじる市民革命を主導した | 4. 三権分立を徹底し、国民による議会政治が王権に優先する立憲君主制を早期に確立した |
|--|---|---------------------------------------|--|
-
- 問2 明治初期、政府が巨額の費用を投じて各地に「官営工場」を建設した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 江戸時代から続く伝統的な家内制手工業を保護し、外国製品の輸入を厳しく制限するため | 2. 重化学工業の技術を政府が独占し、すべての民間企業を国家の管理下に置くため | 3. 海外からの投資を広く募ることで、江戸幕府が残した借金を返済するための利益を得るため | 4. 欧米の先進的な機械や技術を導入し、民間産業が近代化するための模範を示すため |
|---|---|--|--|
-
- 問3 1868年、王政復古の号令によって政治の主導権を握った薩摩・長州らを中心とする勢力と、これに反発した旧幕府軍との間で発生した、一連の内戦の名称として適切なものはどれですか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 下関戦争 | 2. 西南戦争 | 3. 戊辰戦争 | 4. 生麦事件 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問4 1871年に派遣された岩倉使節団が、欧米諸国を訪れた本来の目的と、その後の活動内容についての説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 鎖国を継続するために、欧米諸国に対して開国を拒否する旨の親書を届けること。 | 2. 欧米諸国の植民地支配の仕組みを学び、アジア諸国へ進出するための軍事拠点を視察すること。 | 3. 江戸幕府が結んだ不平等条約の改正に向けた準備とともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること。 | 4. ロシアの南下政策に対抗するため、イギリスやフランスとの軍事同盟の締結を最優先すること。 |
|--|--|---|--|
-
- 問5 地租改正の内容について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 地価の10%を税率とし、政府が発行する紙幣のみでの納税を義務付けた。 | 2. 耕作者に土地の所有権を与え、収穫高の2.5%を税として米で納めさせた。 | 3. 土地の所有者に地券を交付し、地価の3%を税として現金で納めさせた。 | 4. 旧藩主が所有する土地を調査し、全国一律の小作料を定めることとした。 |
|---------------------------------------|--|--------------------------------------|--------------------------------------|
-
- 問6 地租改正の実施により、明治政府の財政運営はどのように変化しましたか。その仕組みの背景を含めて説明したものとして適切なものを選びなさい。 (2026年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 小作人に土地を安く売り渡すことで、自作農を増やして農業生産力を高め、税収を倍増させた。 | 2. 土地をすべて国有化し、国民から一律に地代を徴収することで、身分制度の解体を進めた。 | 3. 収穫量に応じて税率を毎年変動させる仕組みを導入し、農民の負担を大幅に軽減させた。 | 4. 地価を基準として現金で徴収する仕組みにより、豊凶に関わらず算の見通しが立てやすくなった。 |
|--|--|---|---|
-
- 問7 明治政府は1873年から地租改正を実施しましたが、当初は地価の3%という高い税率が課されていました。これに対し、1876年に各地で大規模な反対一揆が発生したことを受け、政府が翌1877年に講じた措置として正しいものを選択してください。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---|---------------------------------------|
| 1. 地租の税率を地価の2.5%へと引き下げ、農民の不満を抑えようとした。 | 2. 地価の算定基準を全国一律で半分に設定し直し、課税対象となる土地を減らした。 | 3. 土地の所有権を認める地券の発行を中止し、江戸時代の年貢制度を復活させた。 | 4. 地租の納入方法を現金から米による物納に戻し、農民の負担感を軽減した。 |
|---------------------------------------|--|---|---------------------------------------|
-
- 問8 明治時代初期、ロシアに対する北方の警備と、石炭などの資源開発や大規模な農業振興を並行して進めるために、1869年に北海道に設置された政府の官庁を何といいますか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------|--------|---------|
| 1. 朝鮮総督府 | 2. 鎮台 | 3. 開拓使 | 4. 北海道庁 |
|----------|-------|--------|---------|
-
- 問9 明治維新期、新政府が中央集権体制を確立するために実施した一連の改革について、古いものから順に並べた際に、3番目にあたる出来事を選択してください。 (2018年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 江戸幕府の廃止と天皇中心の政治への復帰を宣言した王政復古の大号令 | 2. 藩を廃止して県を置き、中央政府から府知事や県令を派遣した廃藩置県 | 3. 全国の藩主から土地と人民を天皇に返還させた版籍奉還 | 4. 土地の所有者に地券を交付し、地価の3%を現金で納めさせた地租改正 |
|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------|-------------------------------------|
-
- 問10 明治時代初期に、政府による近代化政策とともに、欧米の思想や技術、制度が積極的に導入されたことで、日本人の生活様式が急速に西洋化した社会的現象を何というか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-----------|---------|---------|
| 1. 文明開化 | 2. 自由民権運動 | 3. 殖産興業 | 4. 富国強兵 |
|---------|-----------|---------|---------|
-
- 問11 明治時代の啓蒙思想家である福沢諭吉が、著書『学問のすゝめ』などを通じて、国民に対して「学問」を強く推奨した最大の理由は何ですか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
| 1. 政府の役人になるための試験に合格し、立身出世を果たすため | 2. フランスのルソーの思想を広め、急進的な民主主義を実現するため | 3. 武士としての教養を身につけ、江戸時代の封建社会を維持するため | 4. 個人の独立と自立を促すことで、国家全体の独立を維持するため |
|---------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|
-
- 問12 明治政府が行った「廃藩置県」の目的と、その内容を正しく説明しているものはどれですか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 国民の意見を政治に反映させるため、全国に地方議会を設置し、各地域の代表者に統治権を分散させた。 | 2. 江戸幕府の仕組みを維持するため、将軍に代わって有力な藩主たちが合議制で政治を行う体制を整えた。 | 3. 天皇を中心とする強力な統治体制を築くため、藩を廃止して府知事や県令を中央政府から派遣し、全国を直接支配した。 | 4. 藩の独立性を高め、それぞれの地域で独自の政治を行わせるため、大名を再び領主として任命した。 |
|--|--|---|--|
-
- 問13 1871年7月に記されたお雇い外国人の日記には、政府が藩を廃止し、全国を県に分割するという非常に大胆な決断を下したことへの驚きが記されています。明治政府がこの「廃藩置県」を断行した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 軍事力と徴税権を中央政府に集約し、国家の基礎を固めるため | 2. 旧藩主の不満を解消するために、彼らに以前よりも強い自治権を与えるため | 3. 全国の土地を農民に無償で分け与え、平等な社会を実現するため | 4. 藩ごとの独自の通貨を奨励し、地域経済を活性化させるため |
|---------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 言論や多数決ではなく、軍事力と犠牲によって問題を解決すべきだとする鉄血政策を推進した	ビスマルクは「鉄血演説」で知られるように、議会での議論ではなく、強力な軍隊（鉄）と兵士の犠牲（血）によってドイツの統一を果たすべきだと主張しました。この方針のもと、プロイセンはオーストリアやフランスとの戦争に勝利し、1871年にベルサイユ宮殿でドイツ帝国の成立を宣言しました。
問2	答え 4 欧米の先進的な機械や技術を導入し、民間産業が近代化するための模範を示すため	当時の日本は、民間の資本や技術力がまだ低く、自力で大規模な近代工場を作るのが困難でした。そこで政府が自ら「模範」となる工場を運営することで、機械の使い方や組織的な生産方法を実演し、国内の産業全体を底上げしようとした。
問3	答え 3 戊辰戦争	徳川慶喜が大政奉還を行った後、新政府が「王政復古の大号令」を出して天皇中心の政治に戻すことを宣言したことに旧幕府軍が反発し、鳥羽・伏見の戦いから始まる一連の戦争へと発展しました。1868年から翌年にかけて続き、最終的に新政府軍が勝利したことで、明治政府による全国支配が確立されました。
問4	答え 3 江戸幕府が結んだ不平等条約の改正に向けた準備とともに、欧米の進んだ制度や文化を視察すること。	明治政府にとって、領事裁判権の容認や関税自主権の欠如といった不平等条約を改正することは、近代国家としての地位を確立するための最優先課題でした。当初は条約改正の交渉を主な目的として出発しましたが、欧米の国力や法制度の差を目の当たりにしたことで、まずは国内の近代化を急ぐ必要があると痛感し、各地の制度や産業の視察に重きを置くようになりました。
問5	答え 3 土地の所有者に地券を交付し、地価の3%を税として現金で納めさせた。	地租改正では、土地の所有者に対して地価の3%を税率として課しました。しかし、この負担が以前の年貢と変わらず重かったことから、各地で農民一揆が発生しました。これを受けて、1877年に税率は2.5%へと引き下げられることになります。
問6	答え 4 地価を基準として現金で徴収する仕組みにより、豊凶に関わらず予算の見通しが立てやすくなった。	地租改正の大きな目的は、国家予算を安定させることでした。基準を「地価」という固定的な値にし、納税を「現金」としたことで、農作物の価格変動や収穫量の増減に政府の収入が左右されなくなり、近代国家としての計画的な財政運営が可能になりました。なお、小作人への土地の売り渡しは第二次世界大戦後の農地改革の説明であり、地租改正の内容とは異なります。
問7	答え 1 地租の税率を地価の2.5%へと引き下げ、農民の不満を抑えようとした。	明治政府は、近代化を進めるための安定した財源を確保しようと地租改正を行いました。地価の3%という税率は農民にとって従来の年貢と変わらない重い負担でした。1876年に三重県（伊勢暴動）などで激しい地租改正反対一揆が相次いだため、政府は農民の不満を沈静化させる目的で、1877年に税率を2.5%へと引き下げました。
問8	答え 3 開拓使	江戸時代末期からロシアの南下政策が脅威となっており、明治新政府は領土の防衛を強化する必要がありました。同時に、近代化に必要な資源の確保や土族の救済を目的とした大規模な開発を行うため、行政・開発・軍事を一体となって担うこの官庁が設置されました。1882年に廃止されるまで、北海道の組織的な近代化を主導しました。
問9	答え 2 藩を廃止して県を置き、中央政府から府知事や県令を派遣した廃藩置県	明治新政府はまず、1867年に「王政復古の大号令」を発して新政府の成立を宣言しました。その後、1869年に「版籍奉還」によって名目上で土地と人民を天皇へ返させましたが、旧藩主が引き続き地方統治を行っていたため、1871年に「廃藩置県」を断行して中央集権化を決定づけました。最後に、国家財政の基盤を固めるために1873年から「地租改正」が始まりました。
問10	答え 1 文明開化	明治政府は不平等条約の改正を有利に進めるため、日本が欧米に劣らない近代国家であることを示す必要がありました。その一環として、衣食住にわたる西洋化が進められ、暦（れき）の改正や牛鍋の流行、洋服の着用などが一般に広まりました。
問11	答え 4 個人の独立と自立を促すことで、国家全体の独立を維持するため	欧米列強の脅威に直面していた当時の日本において、国民一人ひとりが自立した精神を持つことが、結果として日本という国家の独立を守る唯一の道であると考えました。そのため、古い因習にとらわれず、実生活に役立つ「実学」を学ぶよう人々に説きました。
問12	答え 3 天皇を中心とする強力な統治体制を築くため、藩を廃止して府知事や県令を中央政府から派遣し、全国を直接支配した。	明治維新において政府が目指したのは、軍事や徴税の権限を中央に集中させることでした。版籍奉還では旧藩主が知藩事として引き続き統治を認められていましたが、中央集権化を徹底するために廃藩置県が断行され、政府が任命した官吏（府知事・県令）が地方行政を担うことになりました。
問13	答え 1 軍事力と徴税権を中央政府に集約し、国家の基礎を固めるため	当時の明治政府は、地方の藩が独自の軍事力や徴税権を持ったままでは、近代的な改革を進めることが困難であると考えていました。旧藩主（知藩事）を解任して東京に住ませ、政府が直接地方を管理することで、安定した税収の確保と強力な軍事力の形成を目指しました。これは当時の外国人も驚くほどの社会構造の根本的な変革でした。